

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	公設民営診療施設維持管理事業 (410113)			担当課	保険年金課		
	開始年度	平成4(1992)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	村瀬 勝子		
	歳出費目	款) 衛生費	項) 保健衛生費	目) 診療所費	決算附属資料	158	頁	
	施策の大綱	保健・医療・福祉の包括的な推進			関連計画等	-		
	施策名	地域医療体制を充実させる			根拠法令等	-		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	民間の医療機関の進出が期待できない地域において、市の診療施設を医師等に貸付けることで診療所を開設する医師を確保し、地域住民が安心して必要な医療を受けることができるようにする。(市街化区域を除いて中学校区に1箇所以上の内科診療所)						
	対象者	-	対象者数	-	一人当たりコスト	-		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等> 姫路ナブコ株式会社						
	事業概要	市が所有する診療施設、医師住宅及び医療機器の維持管理を行う。						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		需用費		施設修繕料等			437	
役務費		建物等保険料・保守点検手数料等			273			
委託料		自動扉保守点検業務			210			
関連事業								
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		809	1,009	982	982	
		補正予算・・・②		258	0	0	0	
		繰越し等・・・③		0	0	0	0	
		財源内訳	一般財源		258	0	0	0
			国支出金		0	0	0	0
			府支出金		0	0	0	0
			地方債		0	0	0	0
			その他特財		809	1,009	982	982
	特定財源名称 (H29実績)	診療所貸付収入			920	財産収入	30 頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.10/0	0.10/0	0.11/0	/	
概算人件費・・・④		800	800	880				
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			1,867	1,809	1,862			
執行状況	執行額・・・⑥		1,067	920				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		100.0%	91.2%				
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		診療所開設数	施設	5 / 4	5 / 4	/ 4	4	
		管理施設数(医師住宅含む)	施設	10 / 4	10 / 4	/ 4	4	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		施設・修繕費等	千円	608	437	-	-	
		単位あたりコスト		-	-			
単位あたりコスト								

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・市周辺部の医療を確保する上で重要である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	△	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	・施設や医療機器の老朽化により、修繕が増加傾向にある。 ・施設や医療機器を民間へ売却または譲渡し運営していただく方が効率的である。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	・一部地域について診療所数の整理が必要である。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	公設民営診療所を設置することで、地域医療の確保を図ることができた。しかしながら、施設を民間に売却または譲渡し、民間で設置していただく方法や医療機関までの移動手段の確保による方法も検討していく必要がある。	
	今後の課題及び方向性	市周辺部の医療機関が少ない地域において、どのように地域の医療需要に対応するのか、利用者の状況や近隣医療施設の有無、交通アクセス等を勘案したうえで、検討していく必要がある。また、各施設の老朽化等による修繕費等について、計画的な執行が必要である。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	内 容 【平成30年度の取組状況】 公設民営診療所の配置の参考とするため、現在設置している診療施設の診療日の状況、診察の件数等の稼働状況を調査した。 【平成31年度の方針】 へき地の住民が医療をうけることができるよう、引き続き医師等に貸し付けた診療施設等の維持管理を行う。 休止診療施設のうち再開が困難な施設は、地元協議のうえ廃止するとともに、譲渡、売却を含めた有効活用方法を検討する。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	診療所管理事業一般経費 (410101)			担当課	保険年金課	
	開始年度	昭和36(1961)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	村瀬 勝子	
	歳出費目	款)総務費	項)施設管理費	目)診療所管理費	決算付属資料		頁
	施策の大綱	保健・医療・福祉の包括的な推進			関連計画等	-	
	施策名	地域医療体制を充実させる			根拠法令等	国民健康保険診療所条例	
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	国民健康保険雲原診療所の管理運営を行い、過疎・高齢化が進んだ地域において、地域住民が必要な医療を受けることができるようにし、地域住民の安心安全を確保する。					
	対象者	雲原・金山地区住民	対象者数	669	一人当たりコスト	35.16	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等>					
	事業概要	国民健康保険直営診療所として、雲原診療所を開設し福知山市民病院からの医師派遣により、診療を行う。 診療日 : 月・水・金 午前10時~12時/午後1時~2時30分(往診) 診療科目: 内科					
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目	具体的な内容			H29経費	
	賃金	臨時職員賃金(1名)			1,339		
	光熱水費	診療所の光熱水費用			426		
	負担金	市民病院への医師派遣負担金			9,931		
関連事業	診療所医業経費						
予算と執行の状況	区 分		H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①	14,787	13,800	14,289	18,388	
		補正予算等・・・②	0	0			
		繰越し等・・・③	0	0			
	財源内訳	一般財源	0	0			
		国支出金	0	0			
		府支出金	0	0			
		地方債	0	0			
		その他特財	14,787	13,800	14,289	18,388	
		特定財源名称 (H29実績)					頁
職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)	0.40/2	0.59/2	0.59/2	/		
	概算人件費・・・④	8,200	9,720	9,720			
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤		22,987	23,520	24,009			
執行状況	執行額・・・⑥		14,246	13,635			
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		96.3%	98.8%			
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指 標	単位	H28	H29	H30	最終目標
		診療件数	件	2,327 / 2,500	2,009 / 2,500	/2,200	2,200
				/	/		
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指 標	単位	H28	H29	H30	最終目標
		診療所開所日数	日	144 / 144	141 / 144	/144	144
		単位あたりコスト		98.9	96.7		
			/	/	/		
	単位あたりコスト						

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	△	・山間へき地の診療所として地域住民のニーズは高いが、人口の減少により、利用者は年々減少している。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	△	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	・市民病院の医師の交通費を協定に基づき負担しているが、内容や金額の見直しができていない。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	・成果目標は、期待される目標としており、十分に理にかなったものとは言い難い。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	過疎高齢化が進む地域であり、今後も利用者数は減少していくものと見込まれる。診療にかかる経費であるため評価は困難である。 過疎高齢化が進む地域であるが、近年特に人口減少している。受診患者数が減少しており今後回復する見込みはない。このため、診療件数の目標数を減らした。	
	今後の課題及び方向性	民間の医療機関の進出が期待できない過疎地等の医療の提供体制について、将来の方向性を検討していく必要がある。 人口減少、受診患者数の低下により、抜本的な運営方法の再検討が必要である。 平成30年度から、雲原診療所患者送迎バス運行事業を統合。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<input type="checkbox"/> 過疎地域の地域医療確保のため引き続き診療所を運営する。 <input type="checkbox"/> 患者数が減少していることから、診療日数を週3日から週2日に変更する。 <input type="checkbox"/> 施設・設備の老朽化への修繕費用や医師の確保など診療所の存続を含めた検討が必要であり、地域の意向も尊重しながら今後の方針を決定していく。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位: 千円)

事業属性	事業名(コード)	診療所医業経費 (410104)			担当課	保険年金課		
	開始年度	昭和36(1961)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	村瀬 勝子		
	歳出費目	款) 医業費	項) 医業諸費	目)	医業諸費	決算付属資料	頁	
	施策の大綱	保健・医療・福祉の包括的な推進			関連計画等	-		
	施策名	地域医療体制を充実させる			根拠法令等	国民健康保険診療所条例		
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()							
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	国民健康保険雲原診療所において、地域住民が必要な医療を受けることができ、健康を保持することができるように、医薬品や医療材料等を調える。						
	対象者	雲原診療所利用者	対象者数	1,733	一人当たりコスト	11.59		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等>						
	事業概要	国民健康保険雲原診療所での医療行為に要する医薬品の調達や必要な検査及び医療機器の賃貸借を行う。						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目	具体的な内容			H29経費		
		医薬材料費	薬品代			10427		
手数料		臨床検査手数料			832			
医療機器賃借料		酸素濃縮装置			944			
関連事業								
予算と執行の状況	区分		H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算・・・①	19,547	17,686	16,663	13,035		
		補正予算等・・・②	0	0	0			
		繰越し等・・・③	0	0	0			
	財源内訳	一般財源	0	0	0			
		国支出金	0	0	0			
		府支出金	0	0	0			
		地方債	0	0	0			
		その他特財	19,547	17,686	16,663	13,035		
	特定財源名称 (H29実績)					頁	頁	
職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)	0.30/0	0.31/0	0.31/0	/			
	概算人件費・・・④	2,400	2,400	2,480				
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤		21,947	20,086	19,143				
執行状況	執行額・・・⑥	17,961	12,203					
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)	91.9%	69.0%					
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		診療件数	件	2,327	2009		2,500	
		診療収入	千円	31,081/34,200	26,637/32,276	/29,051	30,000	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		診療所開所日数	日	144 / 144	141 / 144	144	144	
		単位あたりコスト		124.7	86.5			
			/	/	/			
	単位あたりコスト							

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・診療行為等に必要な経費である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・医薬品等は、適正に管理し計画的に発注している。 ・医薬品はジェネリック医薬品を徐々に採用し経費削減に取り組んでいる。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・診療行為等に必要な経費である。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	ジェネリック医薬品の採用促進や医薬品の計画的な発注、医薬品管理をおこなっており、国保雲原診療所において地域住民の医療の確保を行うことができている。	
	今後の課題及び方向性	ジェネリック医薬品の採用促進及び医薬品、医薬消耗品等の計画的な発注を今後も心がけ、経費削減に努める。受診件数の減少による医業収入が減少していることについて、分析を進める必要がある。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所見		
三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所見			
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	○人口減少、少子高齢化等から収益の増大を図ることは困難であるが引き続きジェネリック医薬品の採用や計画的な医薬品発注、管理を行い、経費を節減する。	
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】		
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	雲原診療所患者送迎バス運行事業 (410121)			担当課	保険年金課	
	開始年度	平成23(2011)	終了予定年度	平成29(2017)	作成責任者	村瀬 勝子	
	歳出費目	款) 総務費	項) 施設管理費	目) 診療所管理費	決算付属資料		頁
	施策の大綱	保健・医療・福祉の包括的な推進			関連計画等	-	
	施策名	地域医療体制を充実させる			根拠法令等	-	
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	国民健康保険金山診療所が平成22年度に閉鎖したことに伴い、金山地区住民が雲原診療所まで行くためのバスを運行し、地区住民が必要な医療を受けることができるようにする。					
	対象者	金山地区住民	対象者数	220	一人当たりコスト	4.94	
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等> (有)チームワーク					
	事業概要	金山地区から雲原診療所への患者送迎バスを週1回運行する。(平成29年度棚卸を受け、診療所管理事業一般経費に事業統合した)					
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目	具体的な内容			H29経費	
	バス運行委託料	@5,940×47日			279		
関連事業							
予算と執行の状況	区 分		H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①	303	286	0		
		補正予算等・・・②	0	0			
		繰越し等・・・③	0	0			
	財源内訳	一般財源	0	0			
		国支出金	0	0			
		府支出金	0	0			
		地方債	0	0			
		その他特財	303	286	0		
		特定財源名称 (H29実績)					頁
職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)	0.10/0	0.03/0	0	/		
	概算人件費・・・④	800	800	0			
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤		1,103	1,086	0			
執行状況	執行額・・・⑥	291	279				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)	96.0%	97.6%				
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指 標	単 位	H28	H29	H30	最終目標
		1運行あたりのバス利用者数	人	5 / 6	4 / 6	0	0
		バス利用者総数		263/294	187/294	0	0
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指 標	単 位	H28	H29	H30	最終目標
		バス運行回数	回	49 / 49	47 / 50	0	0
		単位あたりコスト		5.9	5.9		
	単位あたりコスト		/	/	/		

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	△	・利用者は減少傾向にあり、固定されている。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	△	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	・利用者から一定の負担を求めることや他の手段の検討ができていない。 ・スクールバスの空き時間を利用し運行していることは効率的である。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	・運行回数が適正であるか検証できていない。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	高齢過疎地域(金山地区)において診療所への送迎バス利用は受診機会の確保につながっている。しかしながら、診療日すべてについて送迎を行っているわけではないため、住民の要望に全てこたえることにはいたっていない。	
	今後の課題及び方向性	利用者が少ないなかで、医療機関への交通手段としてだけでなく、地域の生活全般にかかる交通問題として検討する必要がある。 平成30年度から、診療所管理事業一般経費に統合。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	平成30年度より診療所管理事業一般経費に統合	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	病院事業会計負担金 (410114)			担当課	財政課	
	開始年度	平成5(1993)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	山田 信義	
	歳出費目	款) 衛生費	項) 保健衛生費	目) 保健衛生総務費	決算付属資料	146	頁
	施策の大綱	保健・医療・福祉の包括的な推進			関連計画等		
	施策名	地域医療体制を充実させる			根拠法令等	地方自治法	
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()					
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	病院事業会計の財政基盤の安定を図ります。					
	対象者	病院事業会計	対象者数	-	一人当たりコスト	-	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等>					
	事業概要	病院事業会計(市民病院分、大江分院分)への負担金					
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費
		企業会計運営負担金		病院事業会計への負担金			1,203,416
内訳		市民病院分			(1,083,231)		
		大江分院分			(120,185)		
関連事業	病院企業会計各事業						
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求
	事業費	当初予算・・・①		1,158,272	1,203,416	1,254,796	1,366,717
		補正予算等・・・②		△ 1,151			
		繰越し等・・・③					
	財源内訳	一般財源		1,157,121	1,203,416	1,254,796	1,366,717
		国支出金					
		府支出金					
		地方債					
		その他特財					
		特定財源名称 (H29実績)					頁 頁
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.01/0	0.01/0	0.01/0	/
概算人件費・・・④		80	80	80			
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			1,157,201	1,203,496	1,254,876		
執行状況	執行額・・・⑥		1,140,974	1,203,416			
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		98.6%	100.0%			
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標
				/	/	/	/
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標
		負担金決算額(市民病院分)	百万円	1,014.6/1,027.8	1,083.2/1,087	/1,138.8	/
		単位あたりコスト		-	-		
		負担金決算額(大江病院分)	百万円	126.4/130.5	120.2/116.4	/116.0	
単位あたりコスト		-	-				

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・基準に基づく負担金支出により、企業会計の財政基盤の安定を図ります。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・基準に基づく負担金支出により、企業会計の財政基盤の安定を図ります。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・基準に基づく負担金支出により、企業会計の財政基盤の安定を図ります。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	・負担金により、病院事業会計の安定的な運営が図られています。(定性的評価)	
	今後の課題及び方向性	・病院事業会計の安定的な運営のため、継続します。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	・企業会計の安定的な運営のため、継続します。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	国民健康保険診療所費特別会計繰出金 (410115)			担当課	財政課	
	開始年度	昭和39(1964)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	山田 信義	
	歳出費目	款) 衛生費	項) 保健衛生費	目) 診療所費	決算付属資料	158	頁
	施策の大綱	保健・医療・福祉の包括的な推進			関連計画等		
	施策名	地域医療体制を充実させる			根拠法令等	地方自治法	
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()					
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	国民健康保険診療所費特別会計の安定的な運営を図ります。					
	対象者	国民健康保険診療所費特別会計	対象者数	-	一人当たりコスト	-	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等>					
	事業概要	国民健康保険診療所費特別会計運営に必要な一般経費等に対して繰出金を支出します。					
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費
		繰出金		国民健康保険診療所費特別会計への繰出金			3,190
関連事業	国民健康保険診療所費特別会計各事業						
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求
	事業費	当初予算・・・①		7,457	6,383	7,172	9,408
		補正予算等・・・②		△ 525	△ 1,902		
		繰越し等・・・③					
	財源内訳	一般財源		6,932	4,481	7,172	9,408
		国支出金					
		府支出金					
		地方債					
		その他特財					
		特定財源名称 (H29実績)					頁 頁
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.01/0	0.01/0	0.01/0	/
概算人件費・・・④		80	80	80			
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			7,012	4,561	7,252		
執行状況	執行額・・・⑥		6,825	3,190			
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		98.5%	71.2%			
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標
				/	/	/	/
				/	/	/	/
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標
		繰出金決算額	百万円	6.8/7.5	3.2/6.4	/7.2	/
		単位あたりコスト		-	-		
			/	/	/		
	単位あたりコスト						

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・繰出により、特別会計の安定的な運営を図る必要があります。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・繰出により、特別会計の安定的な運営を図る必要があります。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・繰出により、特別会計の安定的な運営を図る必要があります。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	・繰出金により、特別会計の安定的な運営が図られています。(定性的評価)	
	今後の課題及び方向性	・特別会計の安定的な運営のため、継続します。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	・特別会計の安定的な運営のため、継続します。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	地域医療・医療従事者養成確保事業 (410116)			担当課	健康医療課	
	開始年度	平成1(1989)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	吉田 和彦	
	歳出費目	款) 衛生費	項) 保健衛生費	目) 保健衛生総務費	決算附属資料	146	頁
	施策の大綱	保健・医療・福祉の包括的な推進			関連計画等	-	
	施策名	地域医療体制を充実させる			根拠法令等	医療法、看護師等の人材確保の促進に関する法律	
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()					
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	本市域の医療従事者の確保のため、福知山医師会看護高等専修学校を運営する事業費に対して補助金を交付することで、市民の安全安心なまちづくりを図る。					
	対象者	福知山医師会高等専修看護学校 教員・学生等	対象者数	100	一人当たりコスト	50.20	
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 福知山医師会看護学校					
	事業概要	本市域の医療従事者の確保 福知山医師会看護高等専修学校に対し3,420千円の補助金を交付					
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費
		医療従事者養成事業補助金		福知山医師会看護高等専修学校准看護師養成補助金			3,420
関連事業							
予算と執行の状況	区分		H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算…①	37,828	3,420	3,420	3,420	
		補正予算等…②	△ 13,800	0	0		
		繰越し等…③	0	0	0		
	財源内訳	一般財源	24,028	3,420	3,420	3,420	
		国支出金	0	0	0		
		府支出金	0	0	0		
		地方債	0	0	0		
		その他特財	0	0	0		
		特定財源名称 (H29実績)					頁 頁
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)	0.32/0	0.2/0	0.2/0		
		概算人件費…④	2,560	1,600	1,600		
総事業費(①+②+③+④)…⑤		26,588	5,020	5,020	3,420		
執行状況	執行額…⑥		20,794	3,420			
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		86.5%	100.0%			
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標
		地元進学・就職に至った人数	人	1 / 2	2 / 2	/ 2	2
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標
		福知山医師会看護高等専修学校卒業生	人	23 / 26	26 / 26	/ 26	26
		単位あたりコスト		904.1	131.5		
				/	/	/	
単位あたりコスト							

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	安全安心の街づくりのため、必要性は高い。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	平成29年度より、医師養成確保奨学金事業及び医師研究事業費補助金について、市立市民病院会計の事業として移管
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	医療人材の確保が目標となる。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	平成28年度、棚卸し実施事業 福知山医師会看護高等専修学校に対して支援を実施することで、毎年本市内に進学・就職してくれている。 現状としては、都心部では、看護師などの確保は争奪戦であり、本市域で看護師を確保することは必要である。	
	今後の課題及び方向性	安心安全な街づくりに資するため、引き続き実施。 平成28年度、棚卸し実施事業 今後も引き続き、福知山医師会看護高等専修学校と連携し、医療従事者の確保について補助する。 ※平成29年度より、医師養成確保奨学金事業及び医師研究事業費補助金について、福知山市病院事業会計の事業として移管した。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	今後においても、本市医療従事者の確保のため支援していく。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		